

**6. 17 昭和ゴム労組  
総行動 & 集会**

衆議院第一議員会館前 9時半～  
(終日霞ヶ関総行動)  
明大リパティタワー 18時半～

**ちば労連**

ホームページ <http://chibarouren.jp/> メール [chibarouren@axel.ocn.ne.jp](mailto:chibarouren@axel.ocn.ne.jp)

第 270 号 URL 版 2014 年 5 月 31 日

発行 千葉県労働組合連合会

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉センター

電話 043(225)5576 FAX 043 (221) 0138

発行人 本原康雄 定価 20 円

【1 面】

# 団結と統一で 安倍『暴走政治をストップ!』 第85回千葉県メーデー

「安倍『暴走政治』ストップ」「大幅賃上げ」「消費税増税・TPP参加反対」「戦争する国づくり・人づくり反対」を掲げて5月1日、第85回メーデーが千葉県内各地で開催されました。千葉市中央公園で行った中央メーデーは1500人が参加。その他会場では船橋、柏、松戸、八千代、市原でそれぞれ開催されました。千葉県全体で約3200人が参加しました。



様々な要求が集まった千葉中央メーデー (1500人)

来賓として、千葉県の佐藤忠信商工労働部長、千葉市中央地区商店街協議会の鈴木喜久理事相談役があいさつを行い、中央労働金庫千葉県本部の日高英彦本部長、全労済千葉県本部細根洋本部長が紹介されました。

政党からは、日本共産党参議院議員の田村智子氏が「安倍内閣の暴走を許さず、国民の犠牲を大前提とする安倍政権を揺るがすような闘いを大きくまき起こしていこうではありませんか」とあいさつしました。

「子どもの健康を守ろう! 青年の雇用を守ろう! じっちゃん、ばっちゃんの生活を守ろう! 平和な暮

らしを守ろう！みんなの命を守ろう！」と青年のアピールの後、参加団体を代表した決意表明があり、最後に参加者全員で「暴走ストップ！」のメッセージカードを元気よく掲げて閉会し、市内をデモ行進しました。

**参加者の声**

**千葉土建：渡部雅士さん**

千葉土建の書記になり、初めてメーデーに参加しました。暴走気味の安倍政権にかなり危機感を持っています。憲法を守るためにもこういう取り組みが大切だと実感しています。もっともっと広がるように呼びかけることが重要だと思いました。

**千葉県国公：大友和弘さん**

国家公務員です。公務員賃下げ違憲訴訟を闘っています。4月から賃金は回復しましたが、消費税増税で生活は変わりません。すべての国民が暮らしがよくなるように、これからもがんばっていきます。

**千葉県医労連：介護で働く女性**

「今日は娘と二人でメーデーに参加しました。船橋会場には3年目の参加です。朝は、雨が心配だったけど、何とかもって良かったです。



松戸地域メーデー (300人)



市原地区メーデー (85人)



柏地区メーデー (736人)



八千代地域メーデー (120人)



船橋地区メーデー (400人)

# 波濤

安倍内閣は解釈改憲による集団的自衛権の行使容認に突き進んでいる。5月14日付け東京新聞の特報では、「集団的自衛権」の本質を表す言い換えを特集している。「集団的自衛権」のイメージをつかむことができるわかりやすい内容だ▼アメリカ言いなりは今に始まったことではないが、まだ日本に「戦争に行ってくい」とは言えない。この間の一連の動きは「集団的自衛権を行使して、アメリカの戦争に行ってきます」と公言できるようにするわけで、アメリカからのリクエストにも「ちょっとあそこで戦争してきてよ」という内容が増えるってことだと理解した。▼いつでもどこでも9条を守ろうの意志を示すことがますます必要だ。



【2面】

## 自然エネルギー促進でまちづくりを

### 5・11 千葉県革新懇シンポジウム

#### 若手パネリストが様々な取り組みを報告

5月11日(日)に千葉市文化センターにて、千葉県革新懇が「原発ゼロ！自然エネルギーの促進で、まちづくりを」をテーマに、シンポジウムを開催しました。

はじめに元電力中央研究所主任研究員の本島氏が講演。先日閣議決定された「エネルギー基本政策」は原子力を「重要なベースロード電源」として、圧倒的な国民世論である脱原発の流れと逆行するものだと強調。背景には高密度・大電力の原発を必要とする大企業優先の政治姿勢があると指摘。さらに、原発ゼロ・自然エネルギーの地産地消の促進に向けて、地方自治体の役割の重要性和、保守・革新を超えた全市民的共同が必要であると提起しました。

シンポジウムでは、県商工労働部が「県の新エネルギーの取り組み」、県の支援制度や県内の新エネルギーの導入状況を報告。南房総市農林水産部が「南房総市の自然エネルギーの取り組み」、特に木質バイオマスの熱利用(薪暖房機)の施設園芸への導入報告。多古町旬の味産直センターは「エネルギーベンデ(革命)」、ドイツ・スイスの視察から学び、自然エネルギーの取り組みに市民が参加料を払い、参加者には産直の農産物を10年間配当するという画期的取り組みを報告。共産党県議が「再生可能エネルギーによるまちづくり」、県内各地で進む自然エネルギーの取り組みを報告。パネリスト4人中3人が30歳代という、エネルギー問題の可能性と未来を示唆するものでした。

#### フロア発言も活発

フロア発言は、各地域の取り組み報告や、自然エネルギーに対する率直な疑問などが次々と出され、参加者のエネルギー問題での関心の高さと重要性が示されました。



360人の参加で大成功

「シンポジストの面々の若さに感動」「自治体の役割は重要」「互いに手を取り合って未来をつくっていききたい」等の参加者の感想があり、シンポジウムは大成功しました。

## 憲法を守る動きが生まれている

### 5. 3 憲法記念日の集い

5月3日(土)に千葉市文化センター大ホールで千葉県憲法会議と憲法改悪反対千葉県共同センターが主催し、「5・3 憲法記念日のつどい」を開催、600人を超える参加者が集まりました。

集会では主催者を代表して、千葉土建の須木時夫委員長があいさつし、その後市川市の合唱団プリマベラが演奏しました。

その後、森英樹名古屋大学名誉教授が「どうなる憲法? どうする憲法! 暴走する改憲・壊憲の矛盾をつく」と題して記念講演を行いました。安倍首相を先頭にした閣僚の靖国参拝強行や、的はずれな「砂川判決」を口実にした憲法破壊「壊憲」の流れ、実態を詳しく解明。こうした動きに対し、憲法改定の手続き緩和を狙う憲法 96 条問題で「96 条の会」が改憲派の学者も含めて結成され、アメリカとの矛盾も広がるなど憲法を守ろうという大きな流れが生まれていることを語りました。

講演後は千葉労連の栗原睦男さんが集会アピール提案を行い、参加者の大きな拍手で承認され、千葉県憲法会議代表幹事の高橋勲弁護士の閉会あいさつで幕を閉じました。

## 労働相談 1 ヶ月 ～ネット募集でトラブル～

事例 1、成田市在住男性、インターネットの募集案内を見て就職。案内には、給与 24 万とあったが、実際に支給された額は 16 万円。各種保険ありとあったが、いまだに社会保険未加入。昨年 6 月に新会社に移行、会社が変われば改善されるかと思ったが、全く変わらず。1日10時間勤務が当たり前だが残業代は出ない。結婚式をあげると千葉市内から東京に転勤になり、通勤が厳しい状態となる。通勤できないので辞めることにし上司に伝える。ところが辞めさせてもらえず、会社に損害を与えるつもりかと叱責される。そればかりか、結婚式のお祝い金を返せと言われる。

気の弱そうな話し方でどうすればいいかとの相談。会社の働かせ方や上司の話はひとつひとつがブラック企業の手口と伝え、辞める決意をしたのであれば、毅然として対応することを話し、対応の仕方について質問に答える。

事例 2、松戸市在住女性。インターネットで検索、1週間単位で賃金を清算するという案内に魅力を感じて応募。仕事は電話のオペレーターと言われる。働く手続きを行い運転免許証をコピーされる。勤務につくと、オペレーターというのはテレホンクラブの事で驚いたが、1週間だけと思い我慢して働き、すぐに辞めることにする。1週間後、辞めると伝え賃金の支払いを求めたところ、辞められると思うのかと脅しを受ける。相談は賃金の不払いを何とかならないかという事でしたが、話を聞いていくうちに賃金の不払いに留まらず、風俗関係の裏の仕組みが垣間見えるため警察に相談することを勧める。本人もやはりそうした方がいいかと納得した様子。

インターネット求人に限らず、求人案内に好条件が書かれている場合、募集をしてもすぐやめられてしまい、人集めのための手口という裏面もあるので、契約書の有無の確認など十分に注意する必要があります。【中林】